



南町小だより

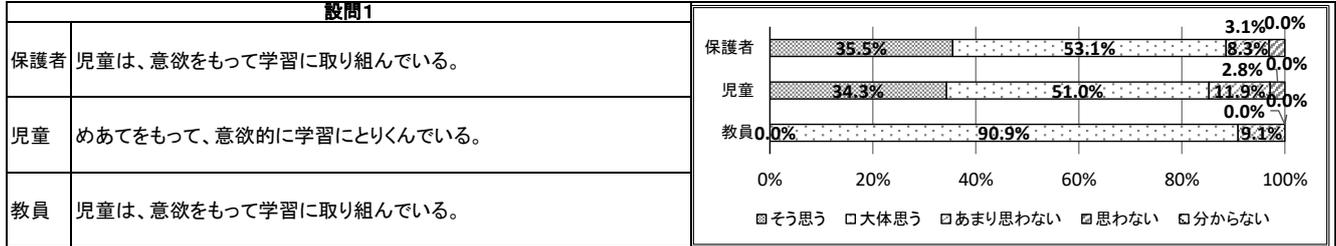
つよく かしこく あたたく

練馬区立南町小学校
臨時号
令和5年 3月15日
校長 星美登里

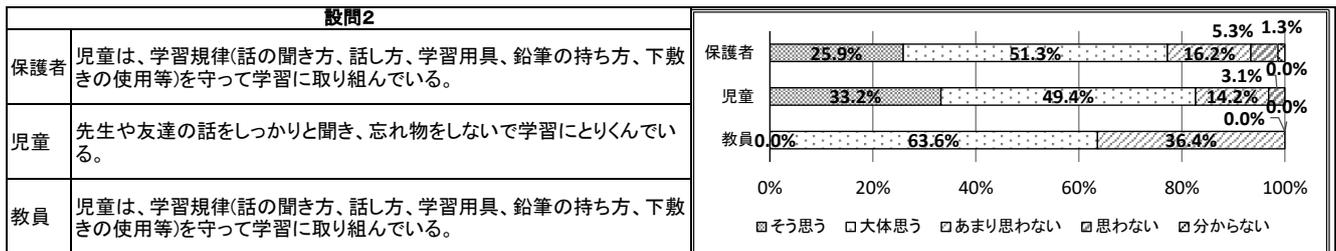
令和4年度南町小学校学校評価アンケート結果集計

12月に保護者の皆様と児童、教職員で行ったアンケートの集計結果です。ご協力ありがとうございました。

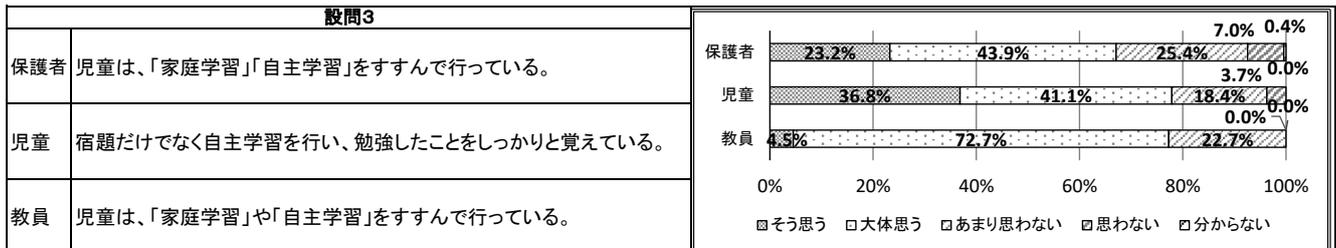
回答率 保護者 60%、児童 92%、教員 100%



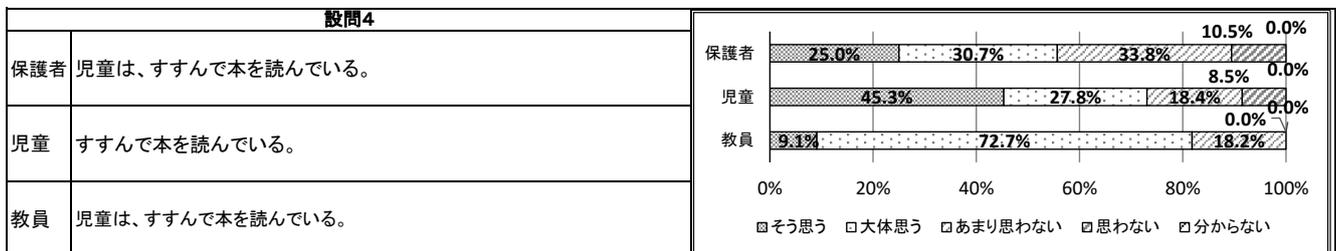
保護者、児童の「そう思う」「大体思う」という回答が90%近くまで上がりました。今年度は研究で、児童の対話を重視した学習を進め、児童の参加意識を高められたことが大きいかと思います。今後も児童の発言をもとに授業を組み立てられるよう、研究を深めてまいります。



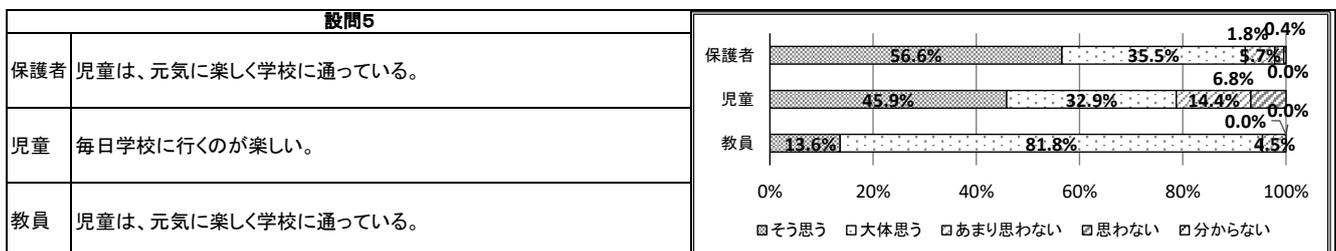
8割以上の児童が概ね学習できていると感じているが、保護者・教職員の「あまり思わない」「思わない」との回答が昨年度よりも増えています。できていない児童を叱る指導ではなく、できていない児童を積極的に称賛することで、児童の成功体験を増やしていきけるように指導方法の改善を図ります。



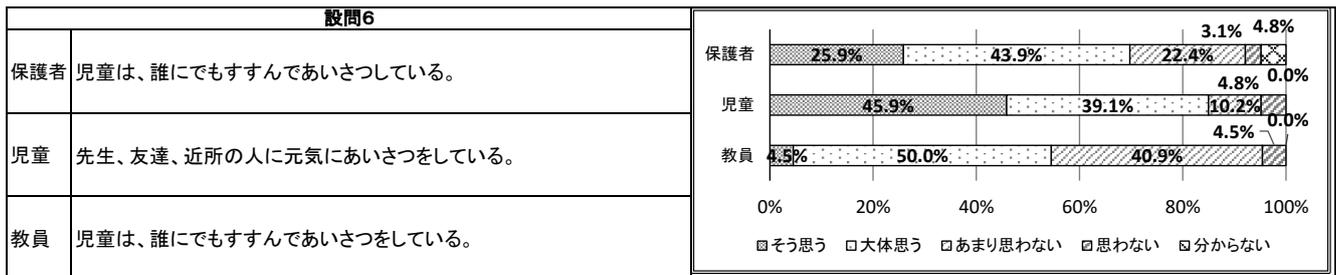
児童、教員は「そう思う」「大体思う」が70%を上回っていますが、保護者が60%台になっています。昨年度も保護者は60%台でした。学校では、毎日家庭学習を課題としています。また、学年に応じて自主学習も行っています。家庭学習の習慣が身に付くようご家庭でも声掛けをお願いいたします。



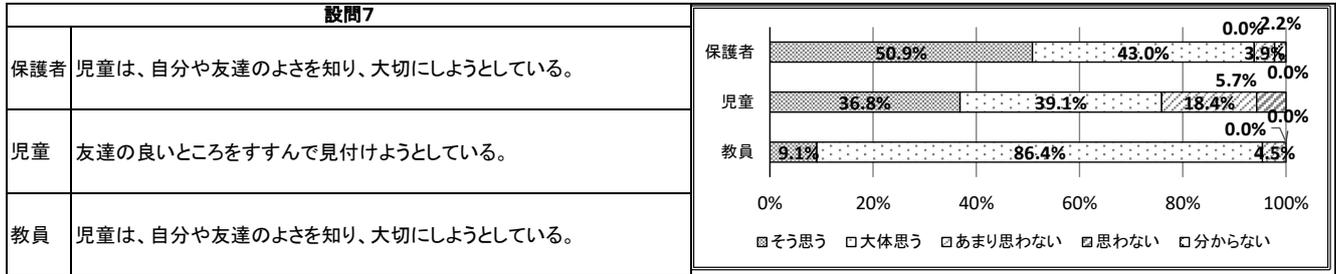
「そう思う」「大体思う」との回答が、保護者が50%台、児童も70%台と低くなっています。読書月間では様々な取組をしていますが、年間を通しての指導に課題があると認識しています。年間で読書を意識付けるような課題を出したり、読書の啓発をより積極的に行っていくなどの改善を図ります。



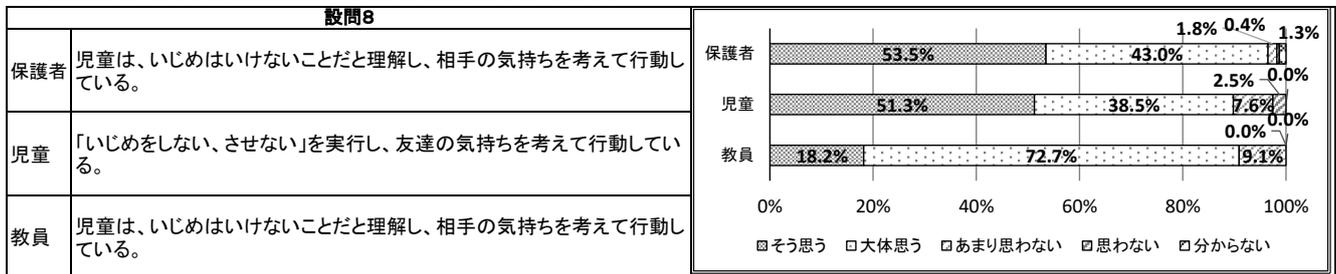
保護者、教員は「そう思う」「大体思う」を合わせて90%を超えています。しかし「あまり思わない」「思わない」と回答した児童が15%を超えていました。活動への制限が多いこと、児童主体の学習活動が十分に行えていないことなどが考えられます。ふれあい班での児童の活躍を称賛する、学級会等で自分たちの考えたことを実行に移す機会などを増やすことで、意識の改善を図りたいと思います。



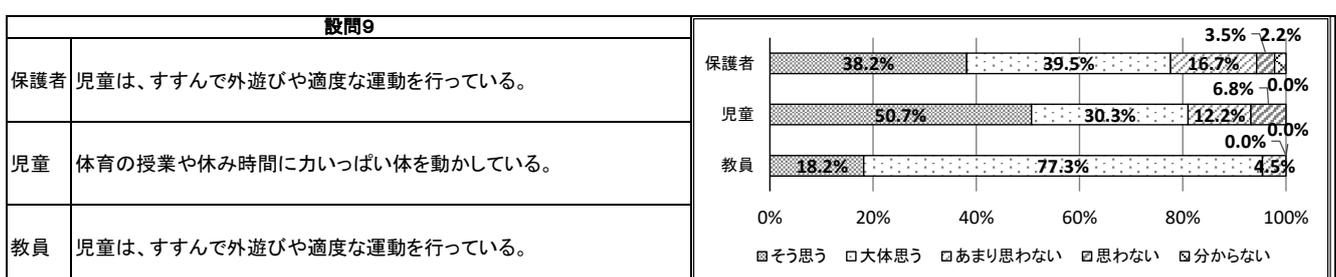
児童は肯定的な回答が85%に達していますが、否定的に感じている教員が45%、保護者が30%います。これは児童は身近な人にははっきりしていることで良いとしているのに対し、教員や保護者は「いつでも」「誰にでも」という意識で見ているという違いによる結果であると思われます。次年度はあいさつについての具体的な取組を決め、全校であいさつへの意識付けを強化していきたいと思えます。



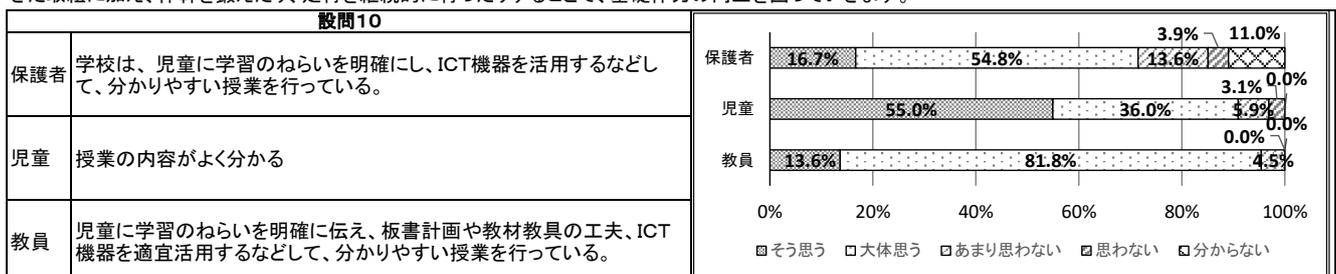
「そう思う」「大体思う」と捉えている保護者と教員が90%台なのに対して、児童が約70%にとどまっています。校内研究で取り組んでいる授業に加え、月1回のみかんの日の活動、南町小人権月間の取組などが、相手を思いやる心を育てています。月2回のふれあい班活動で、他の学年の児童と触れ合う機会も多く設定しています。今後も自他共に大切にすることを育んでいきます。



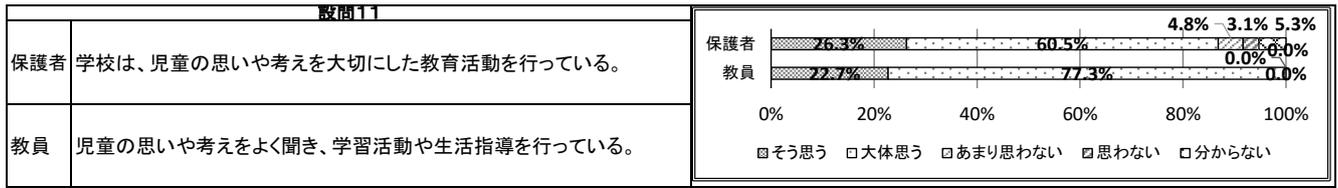
保護者、教員、児童の全てで「そう思う」「大体思う」との回答が90%前後となっています。「いじめはいけない」としっかりと理解しています。児童が行動に結び付けられるように、ふれあい月間などを中心にいじめについて考える授業を行っています。「いじめをしない、させない、見逃さない、許さない」を合言葉に、周りで見ている児童にも声を出すなどの指導を行い、勇気をもって行動できる児童を育てていきます。



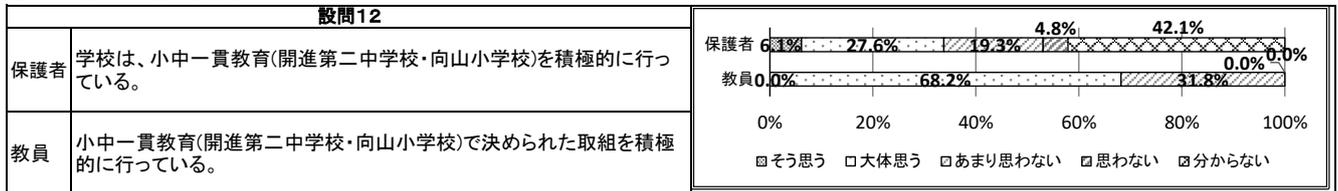
肯定的に捉えている保護者が約70%と低いです。児童についても約80%止まりです。今年度は運動による制限が緩和されたため、多種多様な運動ができるようになったことで、体力を多面的に捉えることが可能となり、運動能力の低下を実感したものと思えます。縄跳びや持久走など、これまで本校で行ってきた取組に加え、体幹を鍛えたり、足育を継続的に行ったりすることで、基礎体力の向上を図っていきます。



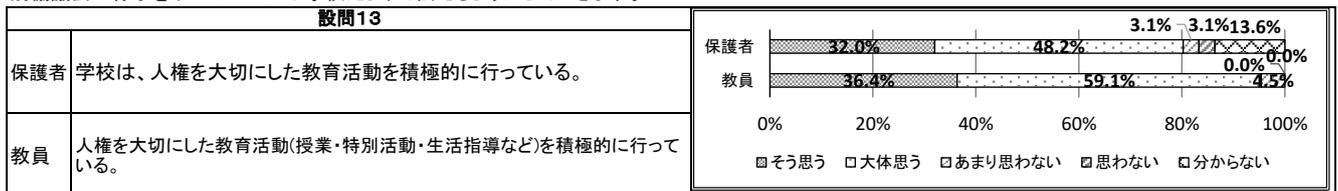
児童と教員は90%以上が肯定的に捉えているのに対し、保護者は70%にとどまっています。また分からないとの保護者の回答が11%に上っています。タブレット端末やICT機器を計画的に使っている様子をお示しできていないことによるものと思えます。一目見てもねらいが分かるように、めあて、意見の出し合い、まとめという授業の一連の流れが分かるような板書を心がけること、1日1時間以上はICT機器を導入した授業を展開することなどを行い、「分かる・できる」授業になるように改善を図ります。



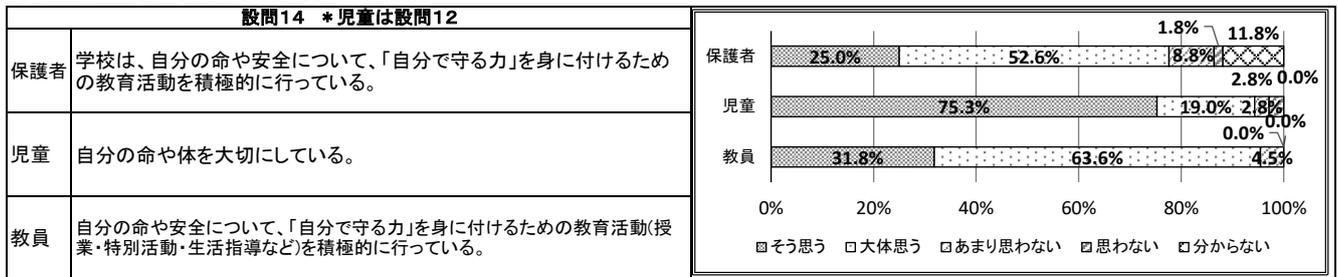
今年度本校は「ちがいを認めて 共に生きるには ～関わり合いを大切に～」をテーマに、校内研究を進めてまいりました。授業の中で児童相互に思いを語り合い、互いの考えの良さを認める活動を通し、思いや考えを表出することの良さを体感させてきました。次年度は校内研究の内容を周知する努力をしていきたいと思ひます。



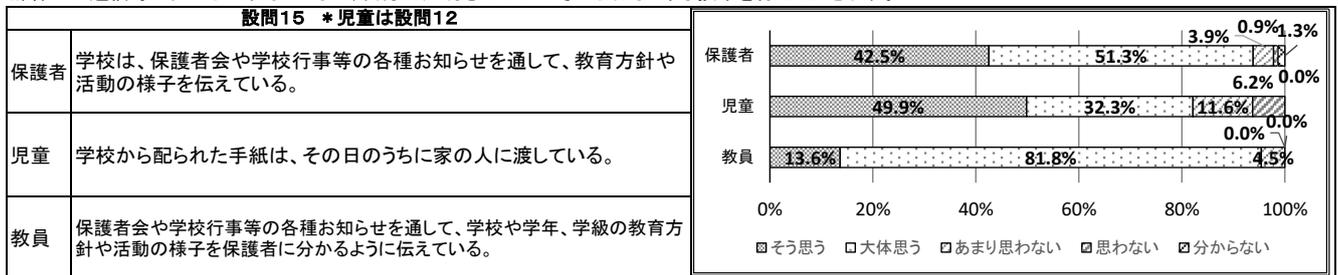
「そう思う」「大体思う」と回答した教員が約70%、保護者は33%と非常に低くなっています。校区別協議会を年2回実施し、12月には開進第二生徒会が来校し、開二中の思いやり宣言について児童に発表していただきました。また3校で自主学習の推進に努めることも確認しました。小中一貫の取組や校区別協議会の様子をホームページや学校だよりで伝えるようにしていきます。



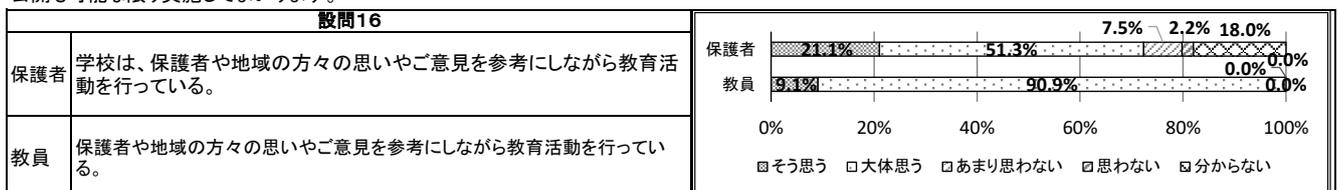
保護者の「そう思う」「大体思う」との回答が80%を超えましたが、「分からない」との回答も14%いただいております。設問11の回答分析と重なるところがありますが、人権教育の実践を伝え切れていないことが反省として挙げられます。自他共に大切に活動を行った際に、ホームページや紙媒体の各種通信で積極的にお伝えできるよう努力していきます。



教員と児童の90%以上が肯定的に捉えているのに対して、保護者の肯定的評価は80%に達しませんでした。毎月の避難訓練や年1回のセーフティ教室を全学年で実施するとともに、交通安全教室やAED講習会、情報モラル教室などを学年の実態に応じて行っています。安全面での実践をホームページや紙媒体での通信等でお知らせするとともに、自分の大切さについて考えられるような授業を行っています。



児童の「そう思う」「大体思う」との回答が80%を下回っています。お便りが保護者に渡らないと、連絡が滞ってしまうことがあります。お便りをしっかりと保護者に渡すように学校で継続して指導してきます。ホームページの定期的な更新など、皆様に学校での様子を伝えられるよう工夫をしていきます。また、学校公開も可能な限り実施してまいります。



保護者の「そう思う」「大体思う」との回答が72%と低いです。児童が個々に様々な課題を抱えていること、保護者の皆様のニーズも多様であることを心に留めて教育活動を行っています。今後とも、ご意見や個々に心配なこと、配慮してほしいことなどがございましたら、ご遠慮なく学校にお知らせください。

自由意見を一部ご紹介いたします。

【ご要望】

①宿題のバリエーションをもう少し増やしても良い気がします。

⇒宿題は家庭学習として行うものであり、本来であれば学校で習った内容を自主的に学習することが望ましいと考えています。また中1ギャップ解消のための小中一貫の取組として自主学習の奨励に力を入れています。課題がないと取りかかりが分からない児童にも配慮し、学校で行った主要4教科の基礎的な内容を宿題として出し、発展は自主学習で取り組んでいただきますようお願いいたします。

②1年生はタブレットが学校保管なので、どこまで活用できているのか全く見えません。2年生に毎日持たせるには重すぎると思います。運用方法や持たせる回数など検討し直して欲しいです。先生によってタブレットの利活用に偏りがあるのが気になります。

⇒1年生は持ち帰りが大変なので、月末や長期休業のみ家庭管理とさせていただきます。2年生以上については、持ち物の量などに配慮しながら適宜持ち帰るようにし、学校での取組が見えるようにしていきます。教員間でのスキル格差はなくするため、ICT支援員等と連携して研修や授業を行うなど、スキルの向上を図ります。

③外国語の授業について、カリキュラムの内容があまり分からず、困っています。詳細と見通しを提示していただきたいです。4種スキルのテスト内容の難易度に驚きました。中学校が不安です。他科目と同様、家庭にフィードバック等の働きかけをしていただきたいです。

⇒小学校で行う外国語活動と外国語の授業について、年度当初の保護者会で教科書等を示しながらねらいを示すようにしていきます。平日でも授業をご覧になりたいという方は、学校までお申し出ください。

④水泳帽について、水泳の習熟度を常に帽子に表示することに、人権のことを考えると違和感を覚えます。

⇒学習指導要領の各学年のねらいと照らし合わせた泳法指導を行い、次年度より検定を廃止します。そのため水泳帽の級表示も行いません。

⑤上履き、体育着、筆箱など、学校が指定する道具などが多いように感じます。筆箱を例にすると、鉛筆など授業に必要なものが入れば十分であるはずですが、集中力が無くなるから筆箱の形や柄の指定をして規制していることが気になります。筆箱の使い方や授業の進め方など他の工夫をすることで対応していただきたいと思います。

⇒ご指摘のとおり趣向が大事にされるべきとの考えも十分に考慮すべきことと思います。学校が意図して指定している道具などについて丁寧に説明を行うと共に、今後、学校が指定する必要があるかどうかを慎重に検討していきます。

⑥学校の安全対策が十分ではないように思います。校門の施錠、危険個所の特定等、最低限の対をさせていただきたいと思います。

⇒各門の電子錠化や門の改修などを区とも協議しましたが、予算の都合上困難であることが分かりました。教職員と児童に、各昇降口の一部施錠を行い、扉を「開けたら閉める」ことについて徹底して指導していきます。また、安心安全ボランティアの時間拡大や見守り箇所の変更を行う、行事の際にはPTAや父親の会と連携して警備を強化していきたいと思っています。よりよい未然防止策について、皆様のご意見を伺いながら常に模索していきます。

⑦昇降口の掃除について、乾いた状態で勢いよくほうきで掃いているので、土埃が舞っていました。健康上とても心配になりました。水を撒く、濡れぞうきんを使うなどして工夫してみてもよいのではないのでしょうか。

⇒児童による玄関の掃除は靴箱のみとして、床面の清掃は用務主事等が行うこととします。

⑧スマートフォンは普及しておりますので、保護者向けのお知らせ等は全てGoogle サイトなどのWebで提供して、コメント欄を開放していただくとコミュニティができてありがたいです。

⇒インターネットの効果的な活用拡大を図っていく必要があると考えています。学校評価や欠席連絡のFORMS化を行います。またお便りも可能な限り(個人情報掲載分は除く)、ホームページに掲載できるよう、検討しています。

⑨第二土曜日の参観日にはぜひ通常の授業の実施いただけないでしょうか。国語や算数という基礎の部分に向かっている子どもたちの普段の姿の参観を希望します。

⇒今年度は出席番号で参観授業を限定したため、時間帯によってはゲストティーチャーによる授業が多く当たってしまった方もいらっしゃいました。大変申し訳ございませんでした。次年度以降は可能な限り各教科の授業が参観できるよう配慮いたします。

⑩アンケートをとるのであれば、記名式は望ましくないと考えます。意見を躊躇したくなるやり方は望ましくないと考えます。

⇒学校評価は単なるアンケートではなく、地域(評議員)・保護者・学校の三者が話し合い、子どもたちがよりよい学校生活を送れるようにご意見を求めるという趣旨で行うものです。ご意見をいただいた際に、内容について詳しくお伺いしたり、説明したりすることがございますので記名式とさせていただきます。

⑪子ども間のトラブルで、やり返した方だけを指導するのではなく、双方の話をよく聞き、適切な指導をしていただきたいです。

⇒お子様に苦しい思いをさせたことについて、大変申し訳なく思います。双方の気持ちや意見を子どもに寄り添いながら聞いて対応していきます。相手のお子様への暴力や暴言について、どのような理由でもしてはいけないうこととして指導してまいります。

⑫子どものマスクについて、健康な子ども達がマスクをつけ続ける事への悪影響が気になります。マスクに慣れて苦しいと思わない、外すことが恥ずかしいと思う子どもも多いようです。

⇒マスクをすることで顔の表情から読み取れる感情表現が分かりにくい、病気の耐性が弱くなるなどの影響について学校でも悩ましいところです。一方で、感染対策のためマスクを着用させたいご家庭もあるかと思われます。呼吸が激しくなる運動時は屋内外を問わずマスクを外すよう指導し、それ以外の場合は任意での着用といたします。なお3月中は練馬区の方針に従い、教職員はマスクを着用いたします。

⑬令和4年11月に練馬区より不登校に関する実態調査の結果が公表されています。基本的な対応の検討については、教育委員会にて行われるべきですが、南町小学校における対応について示すべきかと思えます。

⇒不登校対応について、理由は様々であり一概にこうすればよいというものではありません。不登校対策委員会で個々のケースについて対応を話し合い、外部の専門機関とも連携しながら、対応していきます。

【肯定的なご意見】

○学校に行けば、子どもの方から挨拶をしてくれて雰囲気の良い感じます。お世話になっている地域の人にみかんを配りに行くなど、地域にお世話になっている自分達の立場も理解することになり、良い取り組みだと思えます。

○先生と触れあうことで子どもたちはたくさん感情を知ることと思います。大変な仕事かと思いますが、体調にはくれぐれも気をつけて、子どもたちとたくさん楽しい時間を共有していただけたらと思います。

○コロナなどで様々な規制も多い中、学校の活動を進めていただき、我が子も充実した学校生活を送れていると思います。音楽会や体育学習発表会では、頑張っている先生方の姿も印象に残っています。いつもありがとうございます。

☆その他にも、多数の貴重な意見を頂戴しました。また多くの励ましの声もいただきました。ありがとうございます。皆様からのご意見は、教職員全員で共有して、今後のよりよい教育活動への参考にさせていただきます。